

何か変だな...と思ったら

それって 脳卒中 かも!?

こんな症状ありませんか？

ポイントは

突然と片側

- 体の片方がしびれる、力が入らない

片方の腕が上がらない、歩けない、立てない

※片方ではなく、手足のみ、顔のみのこともあります。



- 笑うと顔の片方がゆがむ

顔の片方が下がる



- ろれつが回らない

言葉が出てこない

会話が理解できない



周囲の人が
気付くこともあります

★これらの症状は、1つだけでなく重複して起こることもあります。

★症状がすぐ消えても放置しないこと。大きな発作につながる可能性があります。

ためらわず すぐに “119番” しましょう

発症から **4.5時間以内** の受診が必要！

早く受診し治療するほど、後遺症は軽くて済みます。

(資料：脳卒中学会)

救急車を呼ぶ時の注意



いつ頃から
(何時ごろから)

どんな病状か

正しく
伝えましょう



* 救急車を呼んだら、ふだん飲んでいる薬・保険証・お薬手帳などを準備しましょう。
* かかりつけ医にも連絡しましょう。

脳卒中とは……?

一口に「脳卒中」と言っても、様々な状態があります。

■脳こうそく

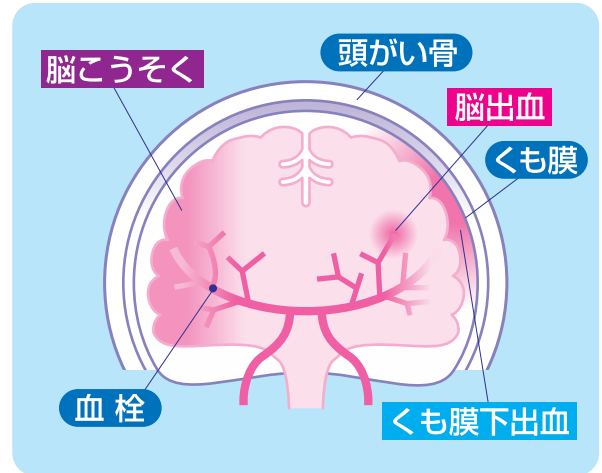
脳や首の動脈、心臓の中に血栓（血のかたまり）ができて、脳に血液を送る動脈が詰まるために起こります。

■脳出血

高血圧で脳の血管がもろくなると破れて出血し、脳細胞を破壊します。

■くも膜下出血

脳の表面の血管にできた動脈りゅうが破裂して起こります。



公益社団法人 日本脳卒中協会 資料より

〔県状況〕 島根県では毎年約1,000人の方が、脳卒中で亡くなっています。そのうち、70人は、40～60代の働き盛り世代です。また、毎年2,000人を超える方が脳卒中を発症していますが、男性の方が女性より多いです。



脳卒中予防 十か条

公益社団法人
日本脳卒中協会

- 1 手始めに 高血圧から 治しましょう
- 2 糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- 3 不整脈 見つかれば すぐ受診
- 4 予防には タバコを止める 意志を持って
- 5 アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- 6 高すぎる コレステロールも 見逃すな
- 7 お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- 8 体力に 合った運動 続けよう
- 9 万病の 引き金になる 太りすぎ
- 10 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ



発症された方では、
過労・睡眠不足・
ストレスも、引き金に
なっていました！

日頃から血圧
(家庭血圧)を測って、
自分の血圧を
知りましょう

